

第3期中期目標の重点ポイント

◆農林水産商工常任委員会(12月17日)での主な意見

- ・産学金官連携の書きぶりが薄い。特に金と学との連携を具体的に。
⇒ 大学、高専、金融機関等との連携について、具体的に記載。
- ・(研究開発について) 成長戦略分野以外の研究分野の位置づけが見えにくい。
⇒ 電機・電子、機械・金属等の基盤的産業について明記。
- ・企業の技術ノウハウの守秘取扱は、企業の意向を尊重すること。⇒ 情報セキュリティの項目に追記。

◆第3期の柱：結果重視の総合的支援～企業の自立化、高収益化につながる支援～

項目	第3期の重点ポイント
基本的な考え方	<p>○医療機器、ウェアラブルデバイスなどの成長分野や先端技術分野への企業チャレンジのサポート及び農商工連携、6次産業化による輸出拡大や新商品開発など、フードバレー推進に向けた対応</p> <p>○第3期を再生・再興への重要な転換期ととらえ、関係機関との連携強化と企業の自立と高収益化につながる結果重視の総合的支援への取組</p>
I 中期目標の期間	4年間(平成27年4月～平成31年3月末) ※第1期、第2期と同じ期間とする。
II 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項	<p>1 中小企業等の製造技術・品質向上、新技術開発への技術支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・品質基準の厳格化や高性能化等、企業の技術課題に最大限応えるための体制強化 ・関係機関と連携した市場動向や販路の情報提供等の総合的支援 <p>2 鳥取県の経済・産業の発展に資する研究開発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業への技術移転と実用化を意識した研究の推進 ◇県経済再生成長戦略への積極的な取組 <ul style="list-style-type: none"> 環境・エネルギー、次世代デバイス、バイオ・食品関連 医工連携による医療機器開発、新素材・高度部材の生産技術 ◇農商工連携、6次産業化による新商品開発 ◇県内の基盤的産業の高度化・グローバル化、地域ブランド確立に向けた研究 <p>3 鳥取県で活躍する産業人材の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内企業の新技術・新商品開発力を高める核となる高度産業人材の育成 <p>4 産学金官連携の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業の販路開拓や事業化戦略を見据えた鳥取県産業振興機構との連携強化 ・大学、高専等との連携では、技術面で中心的なコーディネート機能 ・金融機関との連携では、企業の新事業展開等の支援を強化 <p>5 積極的な情報発信、広報活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用企業の掘り起こしと利用拡大
III 業務運営の改善及び効率化に関する事項	<p>1 機動性の高い業務運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会情勢や企業ニーズに応じた質の高いサービスを提供する体制の確保 <p>2 職員の能力開発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内企業を先導する高度なプロデュース能力をもつ職員人材の育成
IV 財務内容の改善に関する事項	<p>1 予算の効率的運用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予算の効率的運用とインセンティブルールの適用(第1期から継続) <p>2 自己収入の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外部資金の積極的獲得などによる自己収入の確保
V その他業務運営に関する重要事項	<p>1 コンプライアンス体制の確立と徹底</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「研究モラル」の確保による対外的信頼性の確保 ・守秘義務の徹底と企業の独自技術やノウハウの慎重な取扱 <p>2 環境負荷の低減と環境保全の促進</p>